

1 自己評価及び外部評価結果

【事業所概要(事業所記入)】

事業所番号	2192800064		
法人名	社会福祉法人高佳会		
事業所名	馬瀬グループホームいきいき		
所在地	岐阜県下呂市馬瀬惣島1518番地		
自己評価作成日	令和6年8月17日	評価結果市町村受理日	令和6年10月28日

※事業所の基本情報は、公表センターページで閲覧してください。(↓このURLをクリック)

基本情報リンク先	https://www.kaigokensaku.mhlw.go.jp/21/index_nhp?action_kouhyou_detail_022_kani=true&JiyosyoCd=2192800064-00&ServiceCd=320&Type=search
----------	---

【評価機関概要(評価機関記入)】

評価機関名	特定非営利活動法人 ぎふ福祉サービス利用者センター びーすけっと		
所在地	岐阜県各務原市三井北町3丁目7番地 尾関ビル		
訪問調査日	令和6年9月9日		

【事業所が特に力を入れている点・アピールしたい点(事業所記入)】

利用者と家族の思いを大切にするため、個別でのケアに力を入れている。施設内に設けてある歯科診療では、歯科衛生士による口腔ケアを受け、結果により各利用者様の歯の状態、ブラッシング方法、今後の予定など衛生士から指導、助言を受け、利用者様の食べる楽しみに繋げている。又、外国人技能実習生の受け入れにより一気にホーム内が明るくなり利用者様と溶け込んで信頼関係に結びついている、実習生のメンタル面や生活のお手伝いをして何か悩み事はないか、メンタル面でのサポートも行っている。

【外部評価で確認した事業所の優れている点、工夫点(評価機関記入)】

代表が歯科医師であり、法人施設内に歯科診療所を併設している。利用者の口腔ケアの充実は勿論のこと、地域住民の診療にもあたり、地域医療に貢献している。看取り期前を「Yケア期」と称して、職員は「より優しく、安らかに、ゆったり」と、その期間を大切に支援している。常に本人・家族の思いを尊重したケアを実践しており、入院する人も減っている。また、技能実習生の育成や精神的なフォローなども、全職員の協力で定着に繋がっている。今年度、サテライト事業所を開設し、職員の一層の頑張りや協力体制で、さらなる地域密着型サービスの発展に尽力している。自己評価は全職員で関わり、全項目を見直している。

V. サービスの成果に関する項目(アウトカム項目) ※項目No.1~55で日頃の取り組みを自己点検したうえで、成果について自己評価します

項目		取り組みの成果 ↓該当するものに○印	項目	取り組みの成果 ↓該当するものに○印
43	職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる (参考項目:15)	○ 1. ほぼ全ての利用者の 2. 利用者の2/3くらい 3. 利用者の1/3くらい 4. ほとんど掴んでいない	50	職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができている (参考項目:8,9)
44	利用者と職員が、一緒にゆったりと過ごす場面がある (参考項目:14,27)	○ 1. 毎日ある 2. 数日に1回程度ある 3. たまにある 4. ほとんどない	51	通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている (参考項目:2)
45	利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている (参考項目:27)	○ 1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらい 3. 利用者の1/3くらい 4. ほとんどいない	52	運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりの拡がりや深まりがあり、事業所の理解者や応援者が増えている (参考項目:3)
46	利用者は、職員が支援することで生き生きした表情や姿がみられている (参考項目:25,26)	○ 1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらい 3. 利用者の1/3くらい 4. ほとんどいない	53	職員は、活き活きと働いている (参考項目:10,11)
47	利用者は、戸外の行きたいところへ出かけている (参考項目:36)	○ 1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらい 3. 利用者の1/3くらい 4. ほとんどいない	54	職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う
48	利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごせている (参考項目:20)	○ 1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらい 3. 利用者の1/3くらい 4. ほとんどいない	55	職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う
49	利用者は、その時々状況や要望に応じた柔軟な支援により、安心して暮らしている (参考項目:18)	○ 1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらい 3. 利用者の1/3くらい 4. ほとんどいない		

自己評価および外部評価結果

[セル内の改行は、(Altキー) + (Enterキー) です。]

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
I. 理念に基づく運営					
1	(1)	○理念の共有と実践 地域密着型サービスの意義を踏まえた事業所理念をつくり、管理者と職員は、その理念を共有して実践につなげている	法人理念を職員の目に付く場所に掲げ常に意識出来るようにしている。また、ゲストが豊かな第二の人生を歩んでいただけるよう、お一人お一人に寄り添うケアを実践している。	理念は事業所内に掲示している。全職員が理念と介護の心得が書かれたカードを携帯し、常に理念を意識し支援にあたっている。個別支援を大切に「その人に寄りそう」姿勢をモットーに、日々の実践に繋げている。	
2	(2)	○事業所と地域とのつきあい 利用者が地域とつながりながら暮らし続けられるよう、事業所自体が地域の一員として日常的に交流している	感染予防対策を継続しながら地域の美化清掃や祭礼の参拝、同地区の床屋の利用と繋がりを大切に交流している。	自治会に加入しており、住民からは季節の野菜の差し入れを受ける事も多い。地域の介護相談窓口的役割も担っている。同地区の訪問理美容サービスを活用したり、併設の歯科診療所は、地域住民が送迎付きで受診できるなど、地域との繋がりを大切にしている。	
3	(3)	○運営推進会議を活かした取り組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている	コロナ等の感染状況を把握しながら今年度は運営推進会議を開催している。家族からはどんな事も常に連絡を頂ける透明性のある施設で安心して親を預けますと暖かい意見があった。	運営推進会議は同法人の特養と合同で行っており、家族の参加も多い。会議資料は、運営状況を表やグラフで分かり易く提示し、様々な意見も明記している。毎年、外部評価結果も会議参加者に配布し取り組み状況を伝えている。	
4	(4)	○市町村との連携 市町村担当者と日頃から連絡を密に取り、事業所の実情やケアサービスの取組みを積極的に伝えながら、協力関係を築くよう取り組んでいる	行政担当者とは電話やメールにて日頃から連絡を取り情報交換を行っている。また運営推進会議では会議の前後にも情報交換を行っている。	運営推進会議に、行政の参加を得ている。日頃から情報交換をしたり、介護保険制度改正等に関しては、電話等で相談している。行政主催の技能実習生交流会への参加や、民生委員向け見学会の受け入れなど、協力関係を築いている。	
5	(5)	○身体拘束をしないケアの実践 代表者及び全ての職員が「指定地域密着型サービス指定基準及び指定地域密着型介護予防サービス指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、玄関の施錠を含めて身体拘束をしないケアに取り組んでいる	身体拘束を行っていない確認は他の会議でも冒頭に必ず確認しあっている。ヒヤリハットや事故報告書の内容を把握し身体拘束となりうる自案がないか確認し日頃のケアに取り組んでいる。	身体拘束適正化委員会や研修を3か月毎に開催し、拘束に繋がるケアを行っていないか、常に職員間でチェックし、意識化を図っている。技能実習生には言葉の壁を考慮しながら、繰り返し丁寧な指導に努めている。運営規定にも身体拘束に関する項目を明記している。	
6	(6)	○虐待の防止の徹底 管理者や職員は、高齢者虐待防止法等について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内での虐待が見過ごされることがないように注意を払い、防止に努めている	委員会を通して自身の再確認が出来る研修内容がある。職員同士が意識を高めあうように言葉の暴力、虐待は常に確認している。	虐待防止委員会は身体拘束適正化委員会とは分けて、それぞれ議事録も残している。研修については、受講後に報告書を提出し、職員自らが振り返りを行っている。虐待防止についても運営規定の中で必要な措置について定めている。	

岐阜県 馬瀬グループホームいきいき

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
7		○権利擁護に関する制度の理解と活用 管理者や職員は、日常生活自立支援事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、それらを活用できるよう支援している	年々、独居から施設へ入所される利用者が増えている。家族関係を理解して入居時は説明を行うようにしている。		
8		○契約に関する説明と納得 契約の締結、解約又は改定等の際は、利用者や家族等の不安や疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている	契約時は十分な時間を頂いて、納得のいくまで説明し理解を頂いている。改定時は必ず文章にて説明と承諾を頂いており大きなトラブルになった事はない。		
9	(7)	○運営に関する利用者、家族等意見の反映 利用者や家族等が意見、要望を管理者や職員並びに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	家族会等の開催は現状では考えていないため運営推進会議では多くの家族様に出席願ひ、意見や要望を聞ける場を設けている。	外部評価に付帯する家族アンケートの回答率が高く、事業所への関心度も高い。外部評価結果は全家族に配布している。コロナ禍での面会は感染拡大状況を見ながら慎重に対応し、家族との信頼関係作りに努めている。	
10	(8)	○運営に関する職員意見の反映 代表者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている	各部署のリーダーが集まり意見交流、(リーダー会議)がある。特に外国人技能実習生にはいつでも相談が出来るように日頃からコミュニケーションをとり風通しのよい関係作りに努めている。	管理者は、今年度開設したサテライトとの兼務で多忙であるが、職員の意見や相談等に、いつでも対応できる体制を整えている。全職員が何らかの委員会に属し、役割をもって運営に関わっている。会議や研修時には、事前に資料を配布し意見を出し易い環境を作っている。	
11	(9)	○就業環境の整備 代表者は、管理者及び職員個々の努力や実績、勤務状況を把握するとともに、職員が向上心を持って働けるよう、ワーク・ライフ・バランスに配慮した職場環境や就業条件の整備に努めている	業務上、職員同士でも解決出来ないことや、迷った時は、管理者へは相談できる状況下にある。資格取得や研修への参加は業務内で参加できる体制がある。	各種委員会や研修等は、併設の特養と合同で行っている。見守りカメラやベッドセンサーの導入で、職員の負担軽減を図っている。職員の休憩時間の確保や、技能実習生の就業時間内での礼拝時間にも配慮している。	
12	(10)	○職員を育てる取組み 代表者は、管理者や職員一人ひとりのケアの実際と力量を把握し、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている	個人を伸ばす取り組みとして研修は欠かせない。夜勤者は空いた時間に法人内研修を動画で受けレポート提出し常にトレーニングを進めている。	前回の目標でもあった、「全職員が技能実習生の生活面のサポートをして孤独感を感じさせない支援」や地域に住む外国人同士の交流会の参加を勧めるなど、職員育成の一環として支援に努めている。資格取得の為に費用補助もある。	ヒヤリハットで数件、軽度の転倒事故がある。利用者の状態に合わせた移乗・移動等の介護技術の再確認をし、職員の技術向上に繋がりたい。

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
13		○同業者との交流を通じた向上 代表者は、管理者や職員が同業者と交流する機会づくり、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取組みをしている	地域で開催される、講習会や勉強会には積極的に参加して交流しネットワークづくりを大切にしている。		
II 安心と信頼に向けた関係づくりと支援					
14		○本人と共に過ごし支え合う関係 職員は、本人を介護される一方の立場に置かず、暮らしを共にする者同士の関係を築いている	施設に入居され、第二の人生をより豊かに生活できるように支え、また利用者には、昔の話しや人生の大先輩として常に学ぶことを大切にしている、一方的に決めるのではなくて相談して生活することに努め、共同生活の関係を築いている。		
III. その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント					
15	(11)	○思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している	本人の思いを大切にするため思い出の物、アルバムや趣味の物、希望を聞きながら又推測しながら支援している。歩きたいときにはいつでも歩ける本位に寄り添っている。	観察力・洞察力を持って、「利用者一人ひとりの日々の様子や変化をキャッチできるように、職員同士が情報交換し、利用者の思いを尊重した個別支援に努めている。技能実習生も目上の人を敬い、利用者に寄り添いながら支援している。	
16	(12)	○チームでつくる介護計画とモニタリング 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映し、現状に即した介護計画を作成している	家族へは最近の状況報告をした上、昔の事も含め相談させて頂き、職員は利用者の暮らしやすさの為に、多職種の職員にも相談し介護計画に繋ぎ込んでいる。	運営推進会議に参加した家族とは、その際に担当者会議も行い、要望や意見を聞いている。参加できない家族とは介護計画について、電話で話し合っている。また、事業所の看護師や特養の栄養士など、多職種の意見も聞きながら、現状に即した計画を作成している。	
17	(13)	○個別の記録と実践への反映 日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、職員間で情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている	日々変化のあったその日に必ずモニタリングの記録を行っている、全員が目を通し共有しながら実践しそこで新たな気づきや工夫があった時は、iPadの申し送りでも必ず確認し成果のあったことはモニタリングへの記録に繋げている。	利用者の様子を観察し、気づきや変化があった時は、その日の個別記録に記し、職員間で共有しながらケアに活かしている。実践状況はiPadの申し送り内容で確認し、個別記録に反映させ、モニタリング結果としてケアプラン見直しに活かしている。	
18	(14)	○一人ひとりを支えるための事業所の多機能化 本人や家族の状況、その時々生まれるニーズに対応して、既存のサービスに捉われない、柔軟な支援やサービスの多機能化に取り組んでいる	ある利用者は奥様が併設の特別養護老人ホーム入所中の為、毎日顔を見るのが一番の思いと、時間を決めて特養職員協力のもと会いに行かれる。携帯電話、CDの持込をされるのも利用者のニーズに合わせている。	個浴槽の入浴が困難な利用者は、併設の特養の機械浴で支援している。特養入所の妻に会いたいと希望する利用者や、CDで落語を楽しみたいなど、利用者の様々な希望が叶えられるよう支援している。携帯電話の持ち込みも可能とし、個々に家族との交流もできる。	

岐阜県 馬瀬グループホームいきいき

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
19		○地域資源との協働 一人ひとりの暮らしを支えている地域資源を把握し、本人が心身の力を発揮しながら安全で豊かな暮らしを楽しむことができるよう支援している	地元の温泉を利用した足湯を楽しみ、ご近所からの野菜の差し入れ、どこか懐かしさを思い浮かべ安心して食べる楽しみに繋げている。		
20	(15)	○かかりつけ医の受診支援 受診は、本人及び家族等の希望を大切にし、納得が得られたかかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している	地域医療、共寿在宅診療所の医師往診のもと、家族、本人も含め常に相談事や今後の意向の確認を取り意向に沿った医療体制をとっている。	利用者全員が協力医を主治医とし、往診を受けている。歯科は事業所併設の歯科診療所に対応している。協力医以外への受診は、家族同行を基本としている。	
21	(16)	○入退院時の医療機関との協働 利用者が入院した際、安心して治療できるように、また、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。又は、そうした場合に備えて病院関係者との関係づくりを行っている	近年の入院はないが、早期に退院できるように病院関係者とは電話にて相談できる関係づくりをおこなっている。	事業所独自の「Yケア期」の支援体制がある。ここ何年も利用者の入院がなく、持病が悪化した場合も、本人・家族は事業所での支援希望が多い。入院した場合は、入院先医療機関への情報提供など、いつでも行えるよう協力関係を構築している。	
22	(17)	○重度化や終末期に向けた方針の共有と支援 重度化した場合や終末期のあり方について、早い段階から本人・家族等と話し合いを行い、事業所でできることを十分に説明しながら方針を共有し、地域の関係者と共にチームで支援に取り組んでいる	昨年から施設独自で設けたYケアを重度化する前段階から取り入れる事により、本人や家族、主治医とも早い段階から話し合える環境をつくり、十分な説明と同意を得て取り組んでいる。	「Yケア期」については、家族にもよく理解されており、家族・事業所との双方の話し合いも十分にできている。主治医の指導の下で、家族・本人の意思に沿った医療支援体制があり、全職員対象の看取り支援研修も行っている。今年6月にも看取りを実施した事例がある。	
23		○急変や事故発生時の備え 利用者の急変や事故発生時に備えて、全ての職員は応急手当や初期対応の訓練を定期的に行い、実践力を身に付けている	救命講習会が年に二回開催される事により全員が必ず一度は講習を受講出来る体制をつくっている。		
24	(18)	○災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を全職員が身につけるとともに、地域との協力体制を築いている	避難訓練は非常時の想定を変えながら全職員が講習を受けている。特に夜間想定訓練には夜勤者が必ず受けようとしている。	福祉避難所として、市と協定を結んでいる。事業所は、ハザードマップ上は土砂災害危険区域でもあり、防災訓練は年3回行なっている。BCPも策定している。防災委員会を立ち上げ、備蓄品を完備し、消費期限の管理等を適切に行なっている。	

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
IV. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援					
25	(19)	○一人ひとりの人格の尊重とプライバシーの確保 一人ひとりの人格を尊重し、誇りやプライバシーを損ねない言葉かけや対応をしている	排泄介助は特にプライバシーに配慮しトイレの戸の前で待つなど、最低限でトイレ介助の必要なゲストには入る様になっている。一人一人にあった声のかけ方も工夫している。	事業所は女性職員のみであり、男性利用者の入浴や排泄支援時には、特にプライバシーや羞恥心に十分配慮しながら支援している。居室入り口は、廊下からは直接見えないよう、格子戸と室内戸の二重扉になっている。各居室に洗面台もある。	
26		○利用者の希望の表出や自己決定の支援 日常生活の中で本人が思いや希望を表したり、自己決定できるように働きかけている	選択がしやすい聞き方に工夫し、自分の思いや希望を表現しやすいように寄り添って思いを出しやすく働きかけている。		
27		○日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	あるゲスト様は併設の特養に入所中の奥様に会いたくて毎日会いに出かけられます朝の会話や表情を観察し今日は何の様に過ごしたいのか伺いレクの内容や料理の変更、入浴の変更も柔軟に対応し支援している。		
28	(20)	○食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている	食事のリクエストメニューを聞いて取り入れたり、食事レクとして一緒にできる料理を考えながら楽しみに繋げている。また食器拭きやおしぼり巻のお手伝いも毎日の日課となっている。	食材は職員が仕入れた物や差し入れの野菜等を、その日勤務の職員が3食を手作りしている。高齢者向けの味付けや柔らかさ等に配慮しながら、家庭的な食事を提供している。コロナ禍前は、家族と一緒に食事会を行っていたが、収束するまでは自粛としている。	
29		○栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	食事面で心配な時は栄養士に相談しカロリーや栄養バランス等の相談ができアドバイスをもらってケアに努めている。		
30	(21)	○口腔内の清潔保持 口の中の汚れや臭いが生じないよう、毎食後、一人ひとりの口腔状態や本人の力に応じた口腔ケアをしている	施設内の歯科衛生士が随時ケアに入り状態の観察、指導を行い毎日の歯磨きには力を入れている。	法人代表が歯科医師であり、利用者の口腔衛生管理は万全である。各居室に洗面台を備えており、職員の声掛けで毎食後の歯磨きが習慣化されている。一人では難しい利用者は、職員がサポートしている。	

岐阜県 馬瀬グループホームいきいき

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
31		○排泄の自立支援 排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして、トイレでの排泄や排泄の自立に向けた支援を行っている	一人一人の排泄パターンを理解し早めの声かけや誘導を行うことで失敗の減少や清潔保持に繋げ、同じ時間に声かけ、誘導を行うことで自らトイレに迎えるように支援を行っている。		
32		○入浴を楽しむことができる支援 一人ひとりの希望やタイミングに合わせて入浴を楽しめるように、職員の都合で曜日や時間帯を決めてしまわずに、個々に応じた入浴の支援をしている	個浴の入浴が困難な利用者には併設の特養での機械浴を楽しんで頂き、夜間入浴希望の利用者には夕方入浴を楽しんで頂き個々に合わせた入浴ができるように努めている。		
33		○安眠や休息の支援 一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、休息したり、安心して気持ちよく眠れるよう支援している	その時々に応じて就寝時間も利用者のペースに合わせている。日中も廊下の片隅や途中には休憩所や畳のスペースもあり、いつでも自由にリフレッシュ出来る空間がある。		
34	(22)	○服薬支援 一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている	服薬は誤薬が起きないように一人一人の袋があり毎時、袋から出してダブルチェックをした後に服薬の介助を行う。各利用者の病名や薬の内容を把握し変更の際は、申し送りにて全員が確認している。	服薬支援時には、必ず、日付と氏名を確認し服薬介助を行なっている。技能実習生が担当の時は名前を読み間違えないように職員が付き添ってチェックし、誤薬防止に努めヒヤリハットも起きていない。処方変更による体調変化は、必ず管理者に報告している。	
35	(23)	○役割、楽しみごとの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、嗜好品、楽しみごと、気分転換等の支援をしている	毎日奥様の暮らす特養まで歩いて会いに行かれたり、落語を聞くのが趣味の方はCDの操作は職員が手伝い毎日の楽しみにされ、季節の食べ物や家族手作りの梅干しなど嗜好品や気分転換の個別支援に力を入れている。	利用者の個別支援をケアの柱とし、利用者と一緒に調理したり、リクエスト食の提供で、食の楽しみを増やしている。食器拭きやおしぼり畳みを手伝う人もある。また、併設の特養入所の妻に会いに行くことを日課にしている利用者もあり、個々の役割りや愉しめで、張り合いのある暮らしが出来るよう支援している。	
36	(24)	○日常的な外出支援 一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援に努めている。また、普段は行けないような場所でも、本人の希望を把握し、家族や地域の人々と協力しながら出かけられるように支援している	外出支援は、感染拡大の状況を見て、自宅への外泊やお墓参りなど出かけている。また、春には外の駐車場スペースでお茶をしながら全員で花見を行った。	新型コロナは感染症法上の位置付けが5類となり、外出制限を緩和し家族との面会や墓参り、外食等に出かけている。併設の特養で感染者が出た際には、感染拡大状況を見ながら制限を設け、家族の理解を得ながら対応している。	

岐阜県 馬瀬グループホームいきいき

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
37		○お金の所持や使うことの支援 職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している	お金の所持は、家族と相談の上、希望される利用者には渡している。施設内には自動販売機も設置されており利用出来る。		
38		○電話や手紙の支援 家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援をしている	携帯電話を使用いつでも家族と話が出来る環境としている。手紙のやり取りは本人の意向に沿って支援している。また全員が書いた七夕の短冊、お正月に書いた絵馬を家族に送り家族との繋がりを大切にしている。		
39	(25)	○居心地のよい共用空間づくり 共用の空間(玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等)が、利用者にとって不快や混乱をまねくような刺激(音、光、色、広さ、温度など)がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている	廊下を歩いて自然の光や空気を沢山取り入れ自然治癒力に期待できる空間である、回廊の配置となっており安心できる場所になっている。特養との共用空間では、大きな池があり、鯉を眺めたり日向ぼっこも出来る場所がある。	事業所の中庭からも自然光が入り、明るい環境である。また、間接照明が多く、柔らかい光が気分を和らげている。特養と共有している場所の大きな窓からは、池の鯉が泳ぐ姿を眺めることもできる。開放的な施設の建物が回廊式になっており、室内での散歩もできる。	
40		○共用空間における一人ひとりの居場所づくり 共用空間の中で、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている	廊下を歩けば所々に休憩スペースがあり、朝の運動の休憩場所にもなっており、思うように過ごせる場所が何か所もある。		
41		○居心地よく過ごせる居室の配慮 居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている	居室入口戸は格子戸と二つの扉でプライバシーに配慮した作りになっている。本人の趣味として読書の出来る背もたれの椅子、日記の書ける机、化粧の出来る鏡台、着替えのしやすいハンガーラック等、取り入れながら居宅から持ち込み生活している。		
42		○一人ひとりの力を活かした安全な環境づくり 建物内部は一人ひとりの「できること」「わかること」を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している	理解しやすい張り紙や、歩行しやすいように余分な物を置かないよう整理整頓し安全に生活が送れるように工夫している。		